

急速な勢いで進行する高齢化に伴い増加し続ける要介護認定に対応するため、全国で初めてAIを導入することになりました。

● 要介護認定事務の流れ



● 概要と目的

適正な要介護認定を行う上で、調査結果の確認作業はとても重要なステップですが、確認項目も多く、これまで職員にとって、負担の大きい作業となっていました。

この作業をAIに行わせることで、高い確認精度を保つとともに、作業の効率化を図ることにより、申請から認定までの期間を短縮(40日⇒30日)し、職員の働き方改革を推進します。

● これまでの経過

- 令和元年度に、株式会社NTTデータ東北とAIによる認定調査結果の整合性チェックの実証実験を実施。
- 実験の結果、判定精度は80%を超え、システム化が決定。「郡山モデル」として全国に展開される予定です。

● 今年度の計画

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
9月定例会	契約	環境構築		テスト運用		本稼働

● 期待される効果

市民	郡山市	社会全体
申請から判定までの期間が短縮	「生産性向上」「働き方改革」「認定精度の向上」を実現	郡山モデルで、他自治体でも郡山市と同様の効果を獲得